

ishiuchi miyako: mother's

September 23 – November 5, 2006

Tokyo Metropolitan Museum of Photography



石内都 マザーズ mother's

2006年9月23日(土) — 11月5日(日) 開館時間 = 10:00 - 18:00 (木・金は20:00まで、入館は閉館の30分前)
休館日 = 毎週月曜日 (ただし、10月9日は開館、10月10日は休館)
東京都写真美術館 2階展示室 [恵比寿ガーデンプレイス内]

主催 ● 東京都写真美術館 / 朝日新聞社 / 国際交流基金
協賛 ● アサヒビール芸術文化財団 / 財団法人石橋財団 / 株式会社資生堂 / 株式会社東北新社 / 凸版印刷株式会社 / 株式会社ニコン / 富士フイルムイメージング株式会社 / 株式会社ワコール
協力 ● 近藤酒造 / 株式会社カシマ / フォトグラフィーズ・ラボラトリー

観覧料 ● 一般700(560)円 / 学生600(480)円 / 中高生・65歳以上500(400)円

*1 内は20名以上の団体および東京都写真美術館友の会 *小学生以下、および障害をお持ちの方とその介護者は無料 *第3水曜日は65歳以上無料

JAPAN FOUNDATION
Asahi アサヒビール 芸術文化財団
ISHIBASHI FOUNDATION
SHI/EIDO
TFC
TOPPAN
Nikon
FUJIFILM
WACOAL CORP.
Toshiba
Photographers' Laboratory



ishiuchi miyako: mother's

東京都写真美術館では、昨年の第51回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館で催された展覧会を記念して、「石内都: mother's」を開催いたします。ヴェネチアで発表した作品に加え、東京都写真美術館の展示空間に合わせて新作を加えながら、全41点で再構成しています。

写真と映像で展開する石内都の「mother's」は、彼女の母親「石内都」が遺した様々な「モノ」たちのポートレートです。まるでそれを着ていた人の意志が宿っているかのようなシュミーズやガードル、使いかけの口紅や眉筆、髪の毛の付いたままの飾、入れ歯やかつら、そして死の直前に撮られた裸体加わります。石内都は彼女の母が遺した「モノ」を丁寧に見て撮ることによって、確執が深かったという母との関係を静かに見つめ、そして「想像以上の悲しみ」を噛みしめるように確認しています。それは「母」を「女」として回復していく作業にも思えます。自立した現代日本女性の先駆者ともいべきひとりの女性の肖像をとおして、現代日本女性の意識において起こっている大きな変化を如実に語っています。また、石内都の初期の3部作『絶唱・横須賀ストーリー』(1977)、『アパートメント』(1978)、『連夜の街』(1981)から厳選した約50点の作品を大型モニターで展示します。「mother's」とともに、過去の記憶が未来の刻印となるような試みです。

■記念講演会

講師: 石内 都(写真家) × 鷗田清一(大阪大学大学院文学研究科教授) × 笠原美智子(第51回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館コミッショナー、東京都写真美術館事業企画課長)
日時: 2006年10月1日(日) 15時~17時
場所: 1階ホール 定員: 190名(先着順) 聴講無料

■担当学芸員による展示解説

会期中の第2・4金曜日午後2時より展示解説を行います。



all photos © ishiuchi miyako, from series "mother's", 2000-05



石内 都 ishiuchi miyako, 1947-
群馬県生まれ。横浜育ち。1970年に多摩美術大学デザイン科
織コース中退。77年の『絶唱・横須賀ストーリー』や翌年の『APART-
MENT』で注目され、79年、第4回木村伊兵衛賞受賞。99年には第
11回写真の会賞、第15回東川国内作家賞受賞。海外での評価も
高く、ニューヨーク近代美術館等に作品が収蔵され、94年のクック
レハイム美術館「戦後日本の前衛美術」展や98年の「芸術と環境
エコロジーの視点から」展(国立国際美術館)など、多くの国内外での
国際展に招待されている。99年には東京国立近代美術館フィルム
センターで個展「モノクローム—時の経」展が開催された。2006年、
日本写真協会賞作家賞受賞。
代表作に同年齢の女性達の手や足を撮った『19-47』、詩人の伊
藤比呂美の『手・足・肉・体』(1995)、舞踏家・大野一雄を写した『1906
to the skin』(1994)、男の身体を撮写した『さわる chromosome
XY』(1995)、そして身体に刻まれた傷をテーマにした『scar』(1999)。
母の遺品を撮った『mother's』(2002)など。写真集に『SCARS』(書
画社、2005)、『薔薇のバルサム』(共著、求龍堂、2005)がある。ま
たエッセイ集『モノクローム』(筑摩書房、1993)、『キスアト』(日本文
教出版、2005)も出版。東京在住。



東京都写真美術館 — 東京都目黒区三田1-13-3 〒153-0062
tel: 03-3280-0099 URL: http://www.syabi.com
JR恵比寿駅(改札より徒歩7分・東京メトロ日比谷線恵比寿駅より
徒歩10分、当館には専用の駐車場はございません。お車でのご来館
の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。